




# 「AI導入に3400億円の補助金！」

そのニュース、あなたの会社に関係ありますか？ 

 ニュースの見出しだけを見て「うちの会社も使えるかも」と思われた経営者の方へ。この補助金の**本当の姿**と、**誰が本当に喜べるのか**を、わかりやすく解説します。



そもそも「3400億円」とは、単一の補助金ではありません。



正体は、4つの主要な補助金の  
「詰め合わせパック」です。

国が、中小企業の生産性向上をまとめて後押しするために用意した**事業全体の予算**です。メディアでは分かりやすく「デジタル・AI導入」と報じられていますが、実態は人気の補助金がパワーアップして継続される、というものです。

# 「3400億円パッケージ」の中身を見てみましょう



## IT導入補助金

会計ソフト、予約・在庫管理システムなど、業務効率化ツールの導入を支援。



## ものづくり補助金

新製品・サービス開発や生産プロセス改善のための設備投資を支援。



## 小規模事業者持続化補助金

新たな販路開拓や、Webサイト制作・広告宣伝などの取り組みを支援。



## 事業承継・M&A補助金

事業の引き継ぎやM&Aにかかる専門家費用などを支援。

# 【最重要】 この補助金は、誰のためのもの？

## ✔ この補助金で喜べる方

### 人手不足を解消したい事業者

倉庫業、製造業、サービス業など（省力化設備を入れたい）

### ITツールで業務を効率化したい経営者

クリニック、飲食店、小売店、町工場など

### 売上を伸ばしたい小規模事業者

個人商店、フリーランス（事業実態がある方）

## ✖ 今回は対象ではない可能性が高い方

### 大企業の方

中小企業向けの制度です。

### 一般の消費者・会社員の方

事業者向けの補助金です。

### ITツールを開発・販売する会社の方

開発費用ではなく「導入費用」が対象です。

# よくある誤解①：「AI」という言葉のワナ



「AIを使った最新の  
取り組みなら、何でも  
補助されるはずだ」



正しくは：  
補助対象は、国に登録され  
た**特定のITITツール**に限  
られます。



ポイント：自社で独自にAI  
を開発するような費用は対  
象外です。あくまで「AI機能  
が搭載された市販ツールを  
導入する」ケースが中心と  
なります。

# よくある誤解②：ITベンダーの方へ



**「自社ツールの開発費用や販売促進費に使えるのでは？」**



**正しくは：  
この補助金は「ITツールを導入する側（＝ユーザー企業）」が申請者です。**



**ポイント：ITツールを開発・提供する側の費用は対象外です。ただし、自社のツールを「IT導入補助金」の対象ツールとして登録し、顧客の導入を支援することは重要なビジネスチャンスです。**

# よくある誤解③：「申請すれば必ずもらえる」は本当？



「予算が3400億円もある  
なら、申請すれば誰でも  
採択されるだろう」

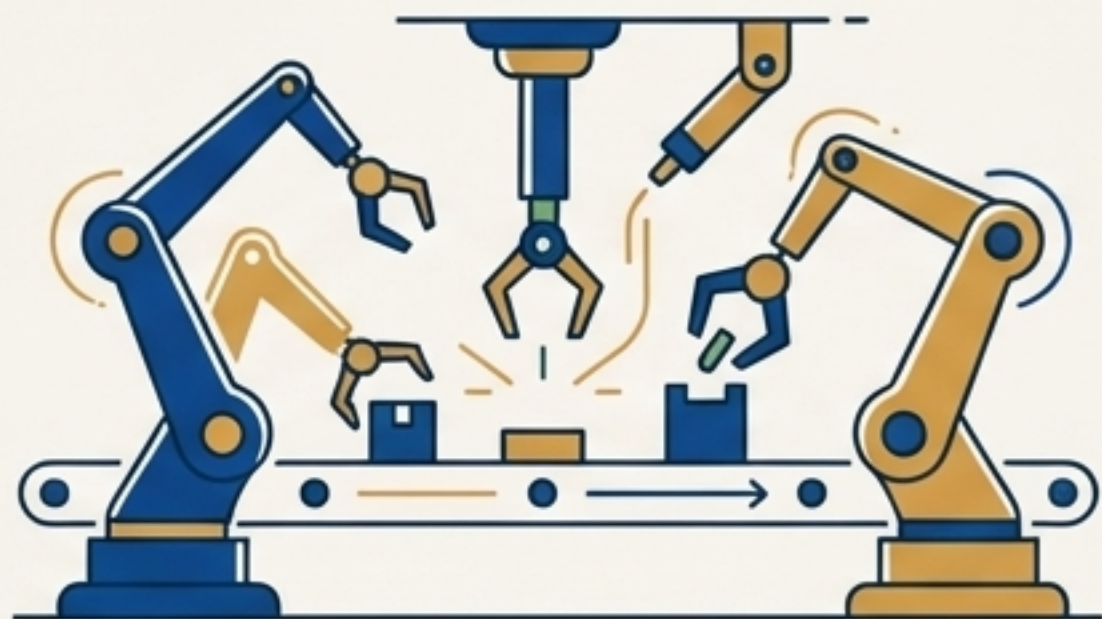


正しくは：  
すべての補助金には審査  
があります。



ポイント：  
提出された事業計画が、自  
社の課題解決や生産性向上  
にどれだけ貢献するかが評  
されます。要件を満たし、  
説得力のある計画を立てる  
ことが採択の鍵です。

# なぜ今、AI・省力化なのか？ 予算が重点を置く2つのテーマ



## 深刻な人手不足への対策

AIやロボットによる「省力化」への投資を強力に後押し。人がやらなくてもよい作業をデジタル技術に任せ、より付加価値の高い業務へシフトすることを促します。



## 持続的な賃上げの実現

生産性を向上させた結果として、従業員への給与還元を計画に盛り込むことが、補助率アップの条件になるケースが増加。企業の成長と従業員の待遇改善の好循環を目指します。

# 具体的に何ができる？①【事務・バックオフィス系の投資例】

Mainly supported by: IT導入補助金など



## 生成AI搭載ツールの導入

議事録の自動作成、顧客対応メールの自動生成、日報作成支援など。



## 経理・人事の自動化

インボイス制度に対応した会計ソフト、AIによる勤怠管理・給与計算システム。



## 受発注システムのデジタル化

FAXや電話での注文をデジタル化し、AIが在庫情報と連携する仕組みを構築。

## 具体的に何ができる？②【店舗・サービス系の投資例】

Mainly supported by: 省力化投資補助金, 持続化補助金など



### 配膳・清掃ロボットの導入

飲食店やホテルでの配膳、使用済み食器の運搬、フロア清掃などを自動化。



### 自動精算機・券売機の導入

AIカメラが商品を自動識別する高機能レジや、キャッシュレス対応の券売機。



### 予約管理システムの高度化

AIが電話での予約を自動で受け付け、リアルタイムで予約台帳に反映するシステム。

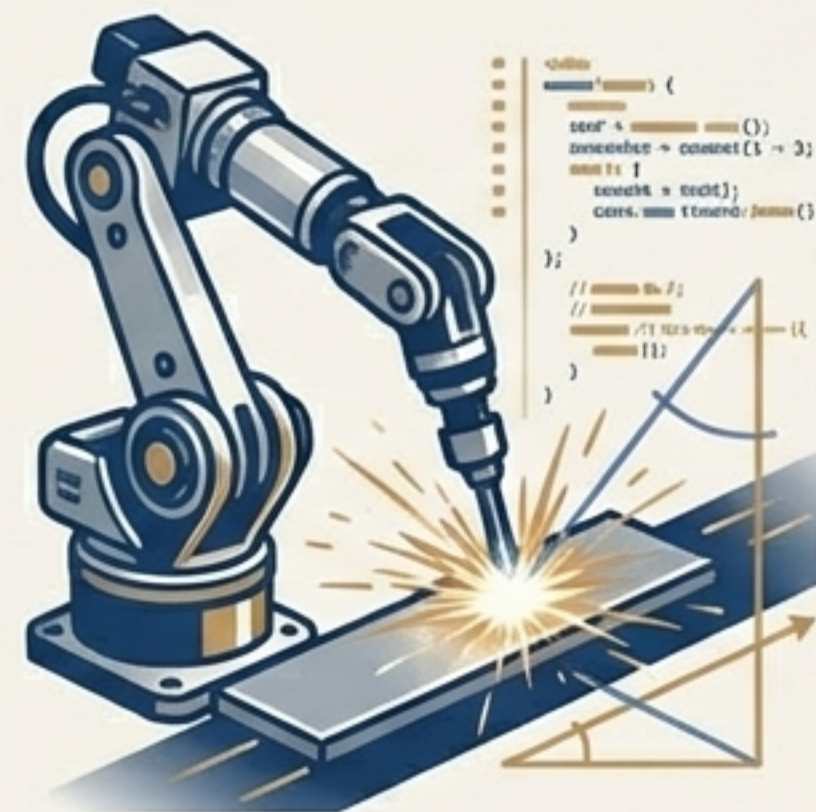
## 具体的に何ができる？③【製造・建設系の投資例】

Mainly supported by: ものづくり補助金など



### AI外観検査装置の導入

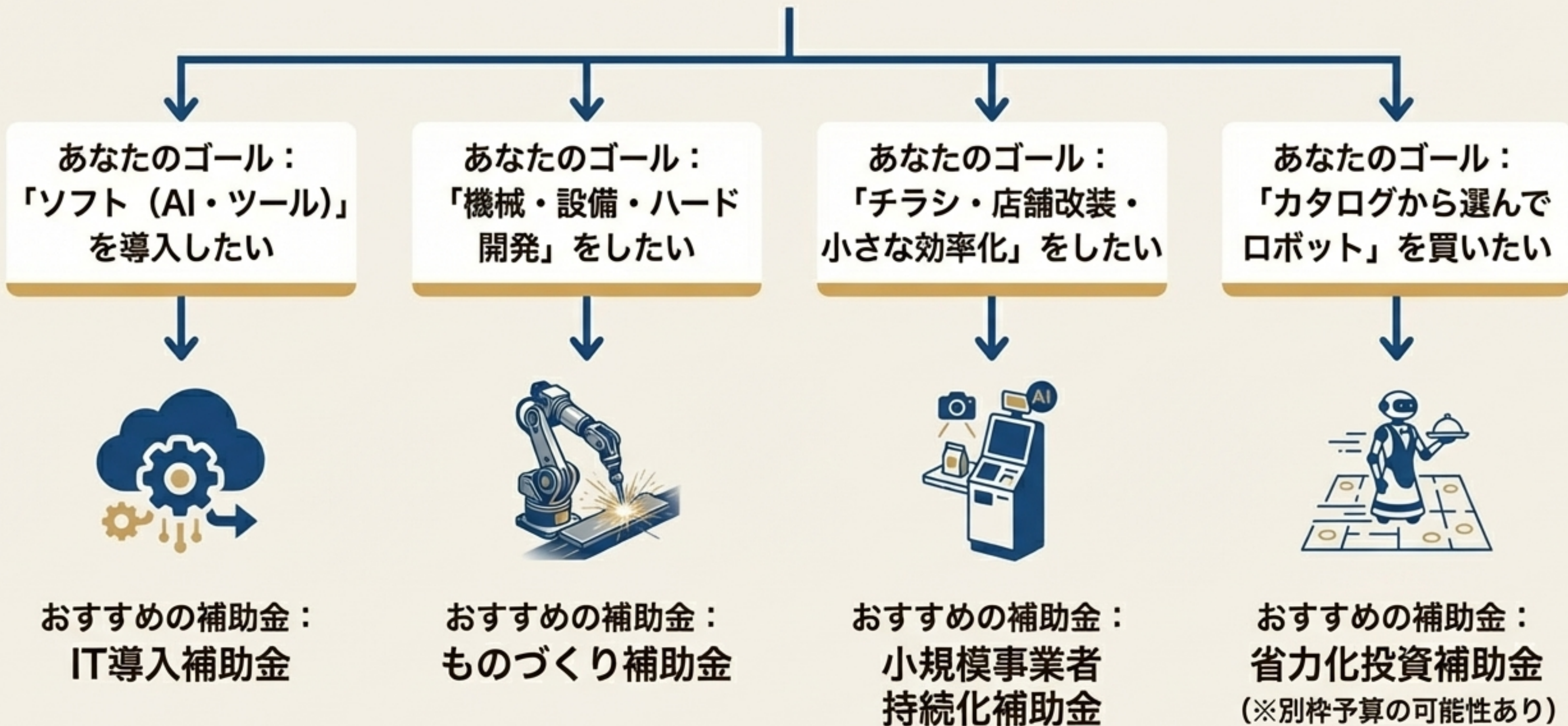
製品の傷や汚れ、異物混入などを、人の目に代わってカメラとAIが高速・高精度で自動判定。



### 自動加工機・ロボットアームの導入

熟練技術者の技をプログラミングし、危険な作業や繰り返しの加工作業を自動化。

# では、あなたの会社はどの補助金を目指すべき？



# 申請までの流れ（IT導入補助金を例に）

1

## 自社の課題を整理する

「何に困っていて、何を効率化したいのか」を明確にする。

2

## 導入したいITツールを探す

補助金の対象として登録されているツールの中から選ぶ。

3

## IT導入支援事業者と申請

**【重要】** 独力では申請できません。国に登録されたITベンダーのサポートが必須です。

4

## 採択・ツール導入

審査を経て採択されたら、契約・支払いを行いツールを導入します。

5

## 報告・補助金受給

導入実績を報告し、審査後に補助金が振り込まれます。

# 公募開始までに、今から準備できること

2025年2月～3月頃の公募開始が見込まれます。スタートダッシュを決めるために、今すぐ動き出しましょう。



## 【最優先】「gBizIDプライム」アカウントの取得

電子申請に必須です。取得に2週間ほどかかる場合があるため、最優先で手続きしてください。



## 「賃上げ」計画の検討

補助率アップの重要要件です。今のうちに従業員の給与を上げる計画を具体的に検討しておきましょう。



## インボイス発行事業者への登録

多くの補助金で加点または必須条件になる傾向があります。未登録の場合は確認を。

[ 2024年12月：予算成立予定 ]



[ 2025年1-2月：事務局決定 ]



[ 2025年2-3月：公募開始予定 ]



# まとめ：このニュースを、本当に届けるべき相手

この「3400億円」の補助金は、  
「業務を効率化したい」「人手不足を解消したい」と本気で考えている  
中小企業の経営者・個人事業主  
のための強力な支援策です。



「自分是对象かもしれない」と思われましたか？  
まず最初にすべきことは、**中小企業庁の公式サイト**を確認するか、  
お近くの**商工会議所**に相談することです。

